

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

・中学の Listening & Speaking、高校の Global Studies の授業において、環境、人権、貧困、児童労働、飢餓、南北問題、女性の権利などをカリキュラムに取り入れ、ディスカッション、リサーチ、プレゼンテーションを通じて世界の諸問題について学び、解決策を考える力を育んだ。

・4月にインドネシアの Raffles International Christian School からの短期留学生を受け入れた。生徒がホストファミリーとなり、学校生活及び家庭生活を共に過ごし、互いの文化への理解を深めた。

・イギリス、アメリカ、オーストラリアで実施している海外研修プログラムを活用し、現地および世界中に同年代の生徒との交流を通じて、生徒の国際理解力を育んだ。

・文化祭での収益金を本校独自の「すみれ基金」に集約し、プランジャパンを通じてギニアビザウでの女子教育を支援している。また、国際交流部は NPO 法人 ACE と協力し、フェアトレードチョコレートの販売を行い、ガーナの子どもたちの教育を支援した。

・目黒ユネスコ協会および目黒区国際交流協会に加盟。

・2016年2月実施の目黒区国際交流協会主催国際交流フェスティバルでは、生徒が運営ボランティアとして参加した。

・国際交流部は今年度はハンガリー、アイルランド、ベトナム、カナダ、ベネズエラ、チュニジア、メキシコ、トーゴ等約10カ国近い国と地域からのゲストを招き、各国の文化への理解を深めた。6月にはユニセフハウスを訪問し、世界の子どもたちを取り巻く状況について理解を深め、文化祭の展示発表に活かした。

・2015年2月にトーゴ大使館員から現地の子供を取り巻く状況を聞いた国際交流部員がランドセル・学用品・衣服の回収キャンペーンをやりたいと申し出て、4月に実施した。20個以上のランドセル、大量の文具・衣服が集まり、トーゴ大使館員に渡した。

・ユニクロの「服のチカラ・プロジェクト」に国際交流部が応募し選ばれた。6月にはユニクロ社員による出張授業があり、難民にとって衣服が重要なものであることを学んだ。7月から校内(小中高)への子ども服回収の呼びかけを行い、文化祭前後で子ども服回収キャンペーンを実施。回収にあたっては校内だけでなく、近隣の幼稚園・保育園にも協力をお願いした。また学校ホームページや facebook なども活用しキャンペーンを周知し、卒業生などからも衣服を回収することができた。最終的に約1週間で段ボール9箱分の子ども服が集まり、ユニクロに寄付した。

・日本語授業があるタイの高等学校と年賀状の交換交流を実施。その後 2 月には同校生徒と本校国際交流部生徒がスカイプを使って日本語での交流会を行った。

・2月に目黒ユネスコ協会の依頼で、インドネシア・ジャカルタにある学校から女子生徒 7 名の 1 日学校体験を受け入れた。中学 3 年生の各クラスが留学生を受け入れ、文化交流を楽しんだ。

・6年前から継続して交流しているロシア大使館学校とは今年度も 12 月、3 月と 2 回の交流会を実施。各校が相手校生徒を迎え、スポーツや料理など通じて文化交流を行っている。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()